



サステナブルな
明日を創る



2025/3期 決算説明資料

2025年6月
南海化学株式会社

東証スタンダード
(証券コード：4040)

I **2025/3期 決算概要**

II **2026/3期 業績計画**

2025/3期 決算概要

2025/3期 決算概要(対計画比較)

- 売上高は、化学品事業は苦戦するも各種塩事業がカバーし計画比微減
- 利益は、織り込んでいたコスト増を軽減すべく、適正価格の維持・一部是正、コストの低減に努めた等により、計画比で営業利益+22%、経常利益+21%、純利益+41%

(百万円)	2025/3期 計画		2025/3期 実績		比較	
		売上高比率		売上高比率	差	計画比
売上高	21,030	100.0%	20,900	100.0%	▲130	▲0.6%
化学品事業	17,138	81.5%	16,346	78.2%	▲792	▲4.6%
各種塩事業	3,892	18.5%	4,554	21.8%	+662	+17.0%
営業利益	1,070	5.1%	1,306	6.2%	+236	+22.0%
化学品事業	2,075	12.1%	2,108	12.9%	+33	+1.6%
各種塩事業	185	4.8%	360	7.9%	+175	+94.6%
調整額(全社費用)	▲1,190	—	▲1,162	—	+28	+2.4%
経常利益	1,200	5.7%	1,456	7.0%	+256	+21.3%
親会社株主帰属当期純利益	720	3.4%	1,015	4.9%	+295	+41.0%
経常利益率	5.7%	—	7.0%	—	+1.3%	—
ROE	8.8%	—	12.8%	—	+4.0%	—

2025/3期 決算概要(対前年度比較)

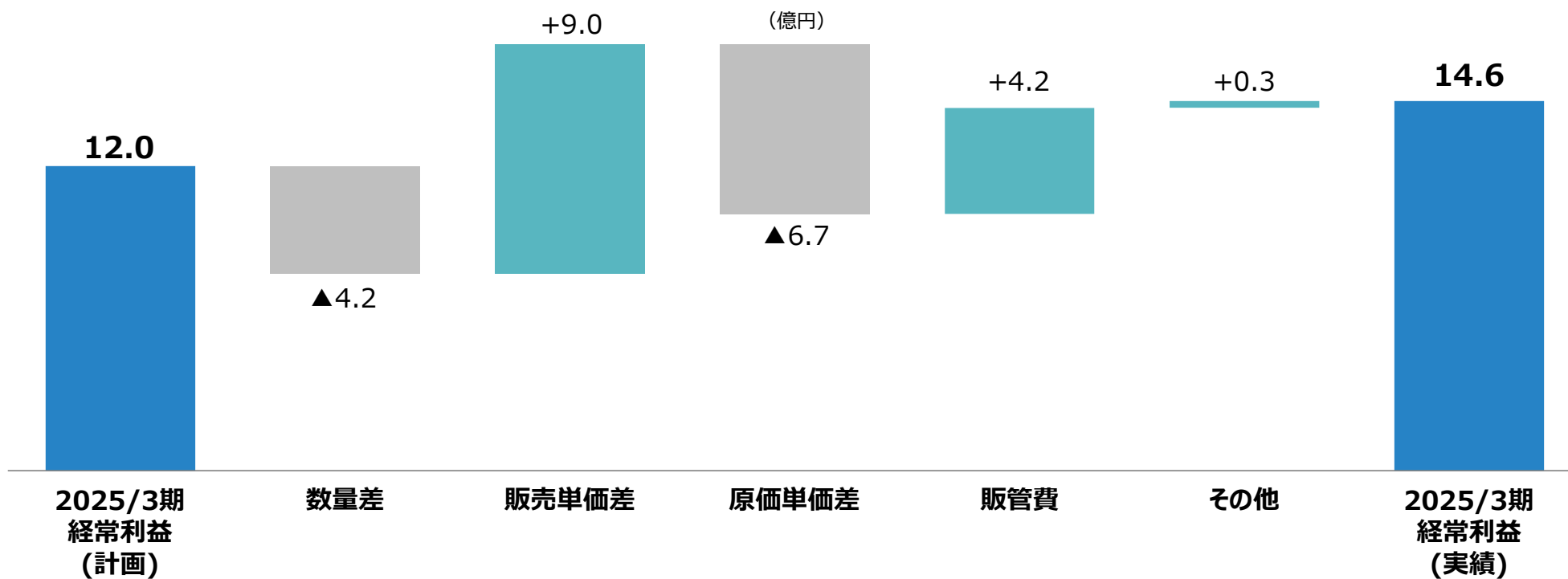
- 売上高は、各種塩事業の凍結防止剤向けの出荷好調等により前年比+4.6%
- 利益については、賃上げによる人件費増、2024年問題に起因する物流費増等により、前年比で営業利益▲16%、経常利益▲18%、純利益▲12%

(百万円)	2024/3期 実績		2025/3期 実績		比較	
		売上高比率		売上高比率	差	前年比
売上高	19,987	100.0%	20,900	100.0%	+913	+4.6%
化学品事業	16,780	83.9%	16,346	78.2%	▲434	▲2.6%
各種塩事業	3,207	16.0%	4,554	21.8%	+1,347	+42.0%
営業利益	1,564	7.8%	1,306	6.2%	▲258	▲16.5%
化学品事業	2,418	14.4%	2,108	12.9%	▲310	▲12.8%
各種塩事業	205	4.8%	360	7.9%	+155	+75.6%
調整額(全社費用)	▲1,059	—	▲1,162	—	▲103	▲9.7%
経常利益	1,780	8.9%	1,456	7.0%	▲324	▲18.2%
親会社株主帰属当期純利益	1,158	5.8%	1,015	4.9%	▲143	▲12.4%
経常利益率	8.9%	—	7.0%	—	▲1.9%	—
ROE	18.5%	—	12.8%	—	▲5.7%	—

経常利益 増減要因分析(対計画比較)

- 化学品事業の販売数量減、原価上昇のマイナスを、販売価格の一部是正と販管費圧縮によりカバーし計画比増

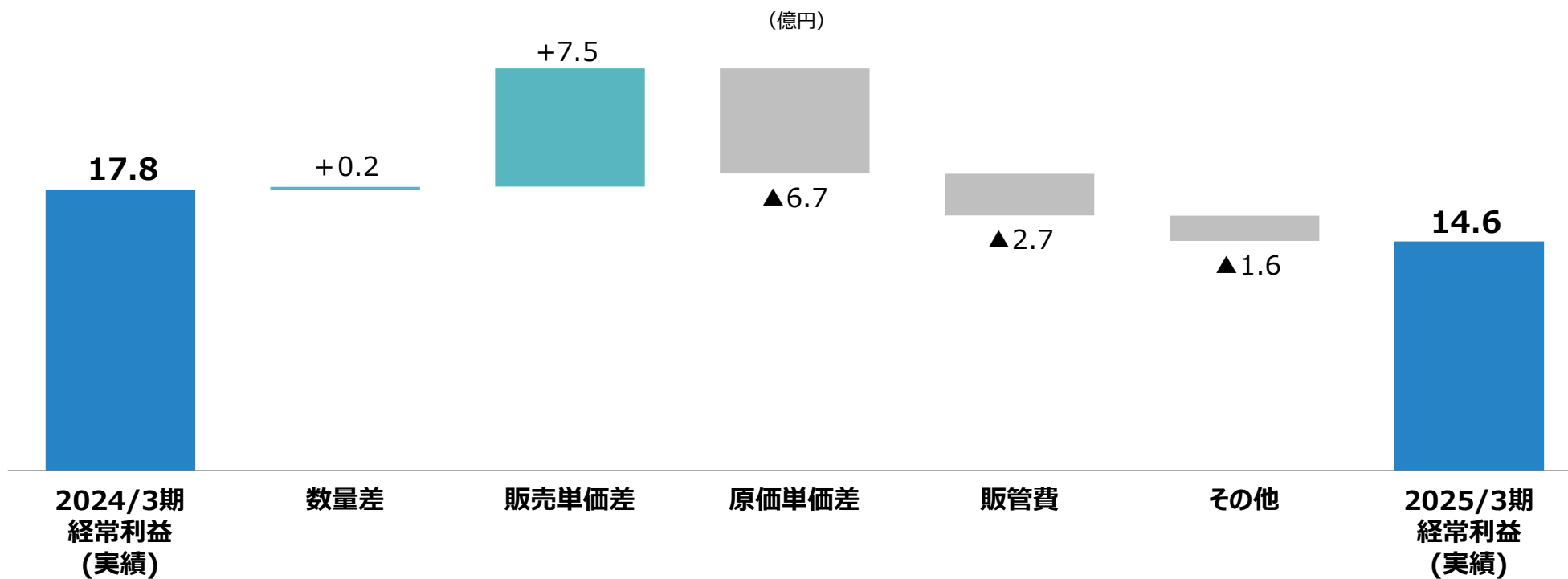
経常利益 増減要因



経常利益 増減要因分析(対前年度比較)

- 原価・販売費・一般管理費の上昇、一部補助金の減等により、販売価格の一部是正を実行するも、結果として減益

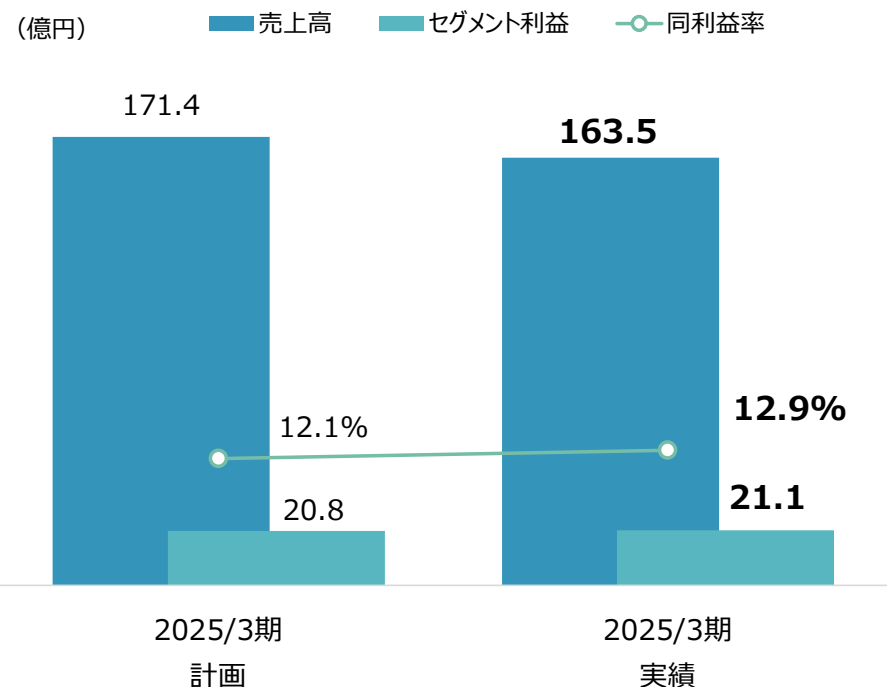
経常利益 増減要因



セグメント別業績：化学品事業(対計画比較)

- 売上高は、電解製品の落込み等により若干減収も、注力中の環境リサイクルにおいては計画比増
- 利益は、適正価格の維持・一部是正、コストの削減努力等により計画値を達成

計画／実績



ポイント

[サブセグメント別売上高]

(億円)	2025/3期 計画	2025/3期 実績	増減額	増減率
基礎化学品	118.3	110.0	▲8.3	▲7.0%
機能化学品	12.8	13.2	+0.4	+3.2%
アグリ	23.7	22.4	▲1.3	▲5.3%
環境リサイクル	16.5	17.7	+1.2	+7.5%

基礎化学品：電解製品の需要減等

機能化学品：ほぼ横ばい

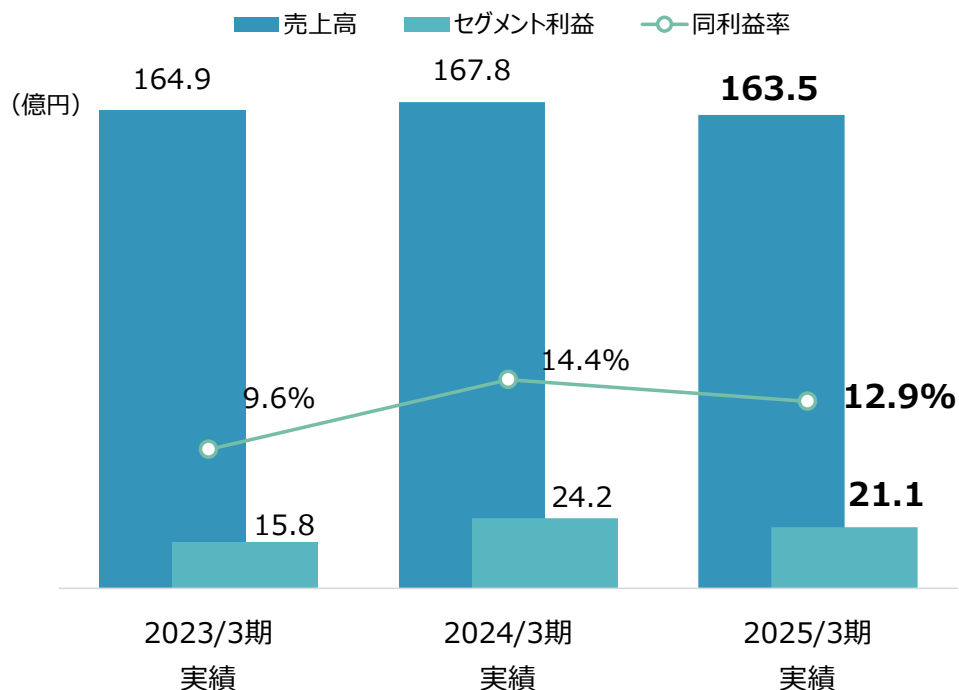
アグリ：一部農作物の需要減等

環境リサイクル：廃硫酸取引が増加

セグメント別業績：化学品事業(対前年度比較)

- 売上高は、主に基礎化学品で減収
- 利益は、販売減、並びにコスト増により前年差▲3.1億円

業績推移



ポイント

[サブセグメント別売上高]

(億円)	2024/3期 実績	2025/3期 実績	増減額	増減率
基礎化学品	114.2	110.0	▲4.2	▲3.7%
機能化学品	14.0	13.2	▲0.8	▲5.7%
アグリ	22.1	22.4	+0.3	+1.4%
環境リサイクル	17.4	17.7	+0.3	+2.0%

基礎化学品：水処理殺菌剤の輸出増の一方、電解製品の需要減により減収

機能化学品：ほぼ横ばい

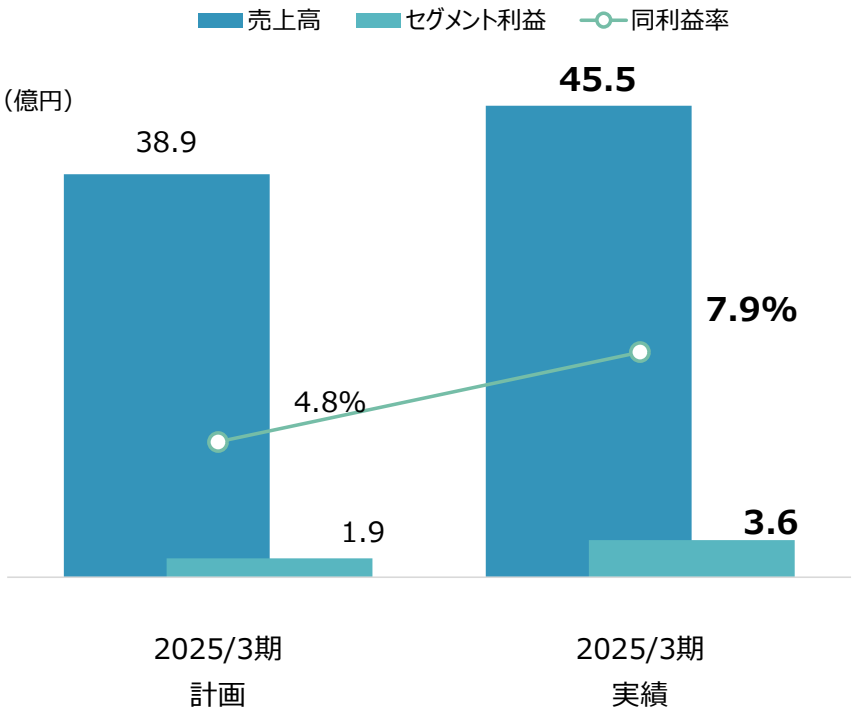
アグリ：ほぼ横ばい

環境リサイクル：ほぼ横ばい(新たな廃硫酸処理量は増加するも、取引先の設備トラブルから既存の製油所由来の処理量が一時的に減少)

セグメント別業績：各種塩事業(対計画比較)

- 降雪の影響を受けた凍結防止剤の販売増、および適正価格の維持・一部是正により増収増益

計画／実績



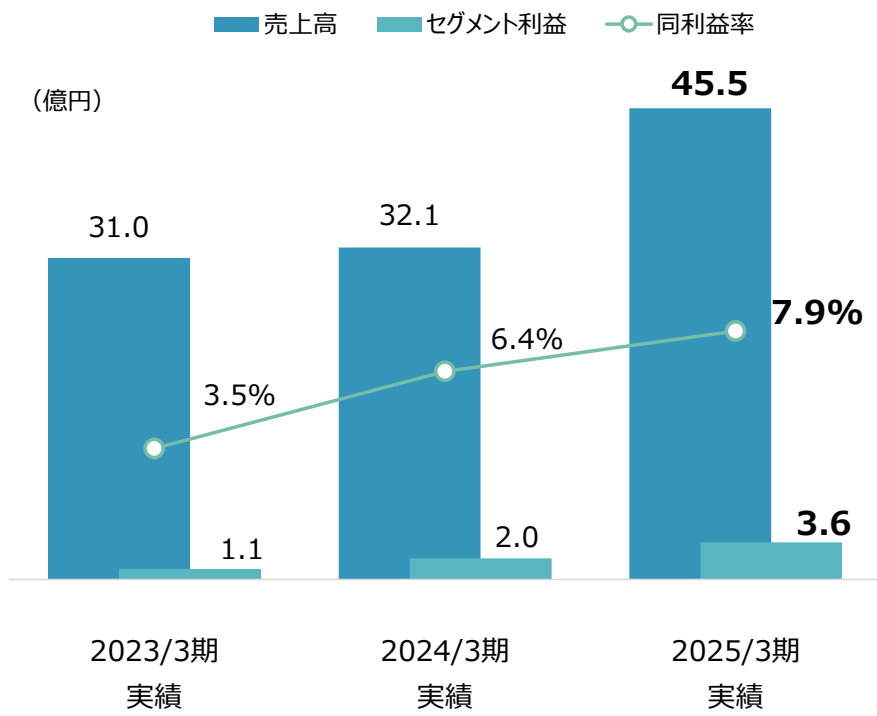
販売数量比較

	2025/3期 計画	2025/3期 実績	増減数量	増減率
販売数量 (単位：千トン)	134.0	140.0	+6.0	+4.4%

セグメント別業績：各種塩事業(対前年度比較)

- 降雪の影響を受けた凍結防止剤の販売増、および適正価格の維持・一部是正により増収増益

業績推移



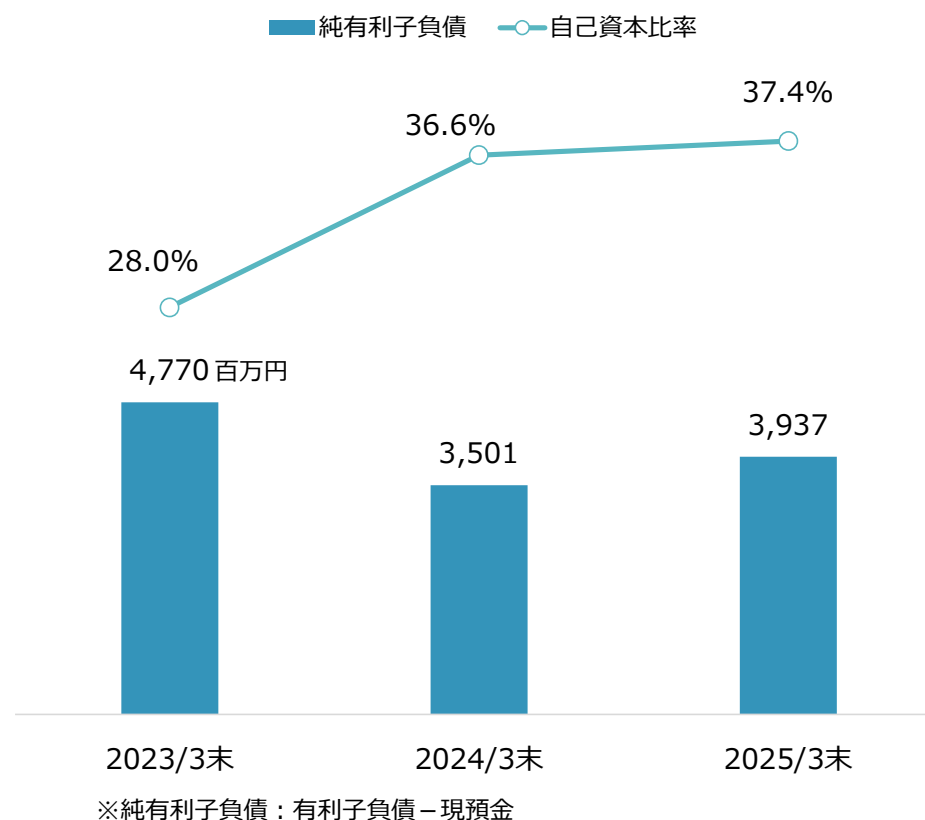
販売数量比較

	2024/3期実績	2025/3期実績	増減数量	増減率
販売数量 (単位：千トン)	107.5	140.0	+32.5	+30.2%

B/Sの状況

- 富士アミド土地売却対応費用の繰延計上により固定資産が増加（土地引き渡し時に振替予定）
- 金利上昇に備え長期借入金を増額するも、自己資本比率は前年度末の水準を維持

(百万円)	2023/3末	2024/3末	2025/3末	前年度末増減
流動資産	8,850	9,096	9,505	+409
現預金	1,301	1,710	1,703	▲7
売掛債権	4,281	3,911	3,988	▲77
棚卸資産	2,558	2,798	3,142	+344
固定資産	9,476	11,144	12,951	+1,807
総資産	18,346	20,258	22,471	+2,213
負債	13,155	12,756	13,968	+1,212
買入債務	2,050	2,624	2,325	▲299
有利子負債 (借入金・社債)	6,062	4,734	5,230	+496
有利子負債 (リース債務)	9	477	410	▲67
純資産	5,191	7,501	8,503	+1,002
負債及び純資産	18,346	20,258	22,471	+2,213

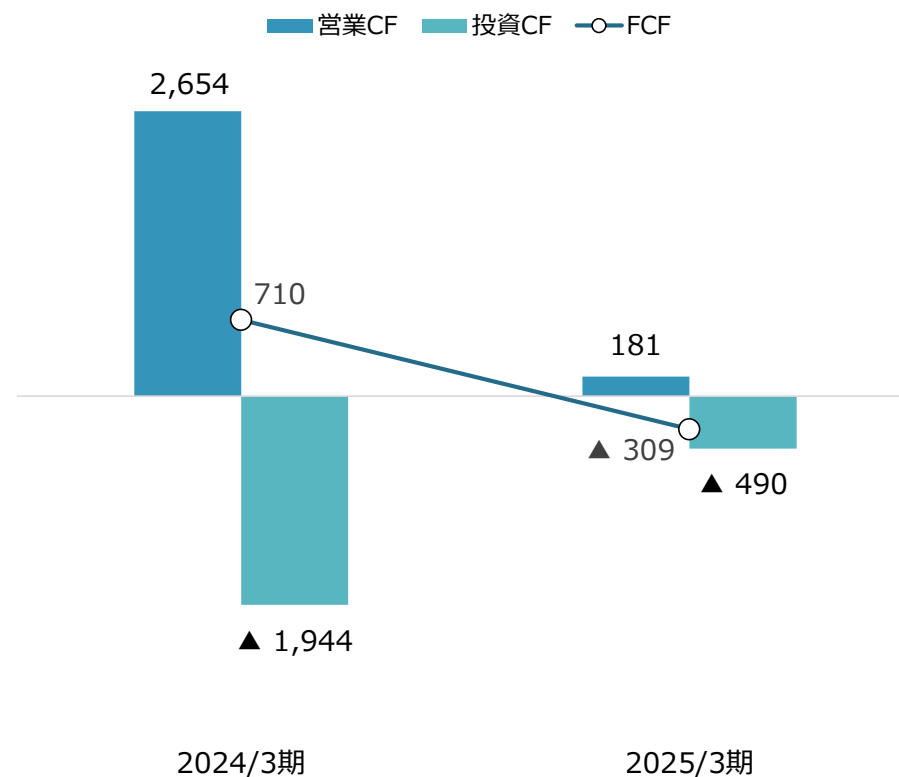


CFの状況

- 土地売却に関連した債務支払い増（但し土地売却手付金により緩和）、仕入債務の支払いタイミングによる一時的な減少等により営業CFは前年から減少し、FCFはマイナス

(百万円)	2024/3期	2025/3期
営業CF	2,654	181
税前当期利益	1,662	1,347
減価償却費	1,022	1,136
その他	▲30	▲2,302
投資CF	▲1,944	▲490
固定資産取得	▲2,084	▲2,043
土地売却手付金	—	1,500
その他	140	53
FCF	710	▲309
財務CF	▲327	243
借入金・社債増減	▲1,327	495
自己株式の処分	1,148	-
配当金支払額	▲48	▲119
その他	▲100	▲133
現金及び現金同等物の 期末残高	1,710	1,703

* FCF=営業CF+投資CF で算出



2026/3期 業績計画

2026/3期 業績計画

- 化学品事業の販売増、並びに販売価格の一部是正にて、売上は前年度比+9.6%、営業利益は+37.8%を目指す
- 一過性の子会社土地売却益により当期純利益は大幅な増益予定

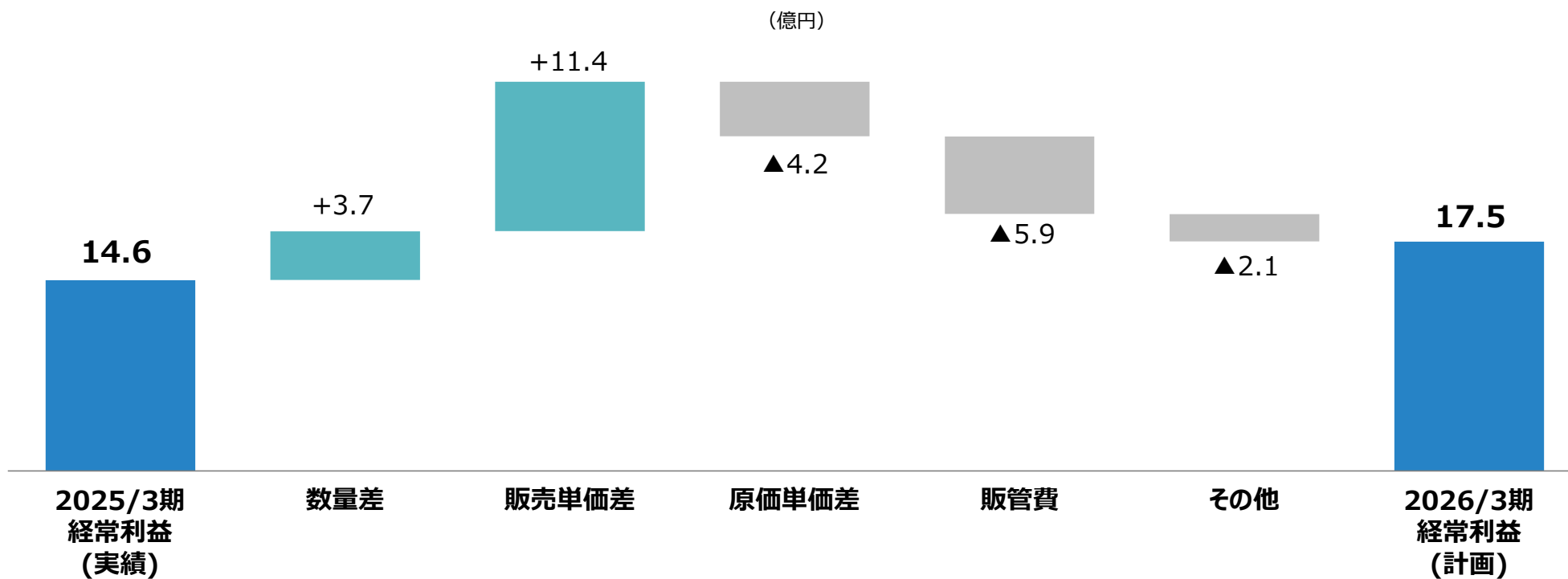
(百万円)	2024/3期	2025/3期	2026/3期 計画	前年比較	
				差	変化率
売上高	19,987	20,900	22,900	+2,000	+9.6%
化学品事業	16,779	16,346	18,360	+2,014	+12.3%
各種塩事業	3,207	4,553	4,540	▲13	▲0.3%
営業利益	1,564	1,306	1,800	+494	+37.8%
化学品事業	2,418	2,108	2,680	+572	+27.1%
各種塩事業	204	359	340	▲19	▲5.3%
調整額	▲1,059	▲1,162	▲1,220	▲58	▲5.0%
経常利益	1,780	1,456	1,750	+294	+20.1%
親会社株主帰属当期純利益	1,158	1,015	※ 2,200	+1,185	+116.6%
経常利益率	8.9%	7.0%	7.6%	+0.6%	—
ROE	18.5%	12.8%	23.0%	+10.2%	—

※子会社土地売却益：1,200(売却額 6,500-土壌対策費用・税金等 5,300)

経常利益 増減要因分析

- 販売数量増、販売価格の一部是正により、原価増及び販管費増を補いつつ増益を目指す

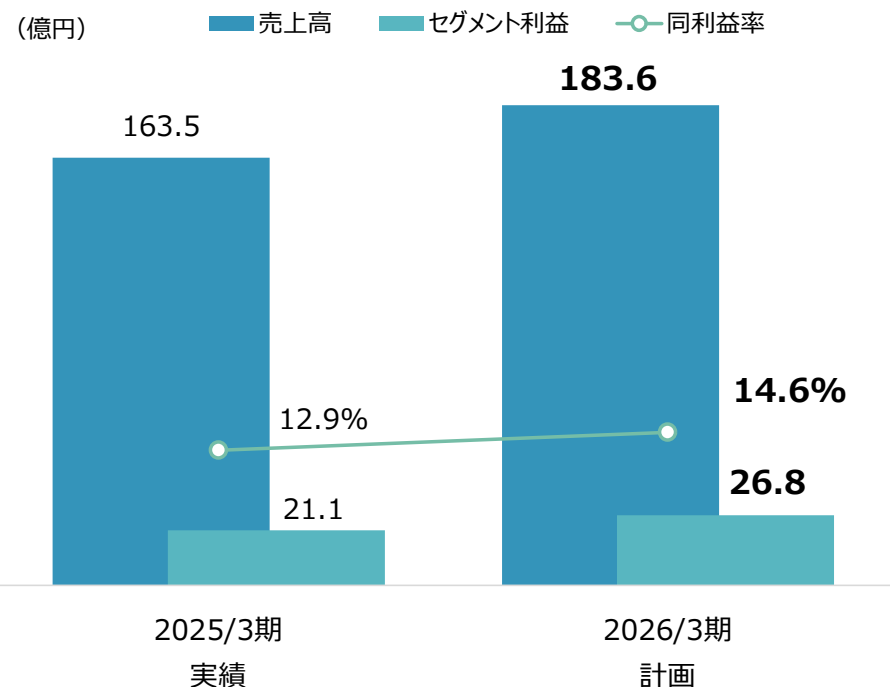
経常利益 増減要因



セグメント別計画：化学品事業

- 電解製品を中心とする販売数量増、適正価格の維持・一部是正により増収増益を目指す

実績／計画



ポイント

[サブセグメント別売上高]

(億円)	2025/3期 実績	2026/3期 計画	増減額	増減率
基礎化学品	110.0	128.0	+18.0	+16.3%
機能化学品	13.2	13.6	+0.4	+2.9%
アグリ	22.4	23.8	+1.4	+6.0%
環境リサイクル	17.7	18.2	+0.5	+2.5%

基礎化学品：電解製品販売増、適正価格維持・一部是正

機能化学品：適正価格維持・一部是正

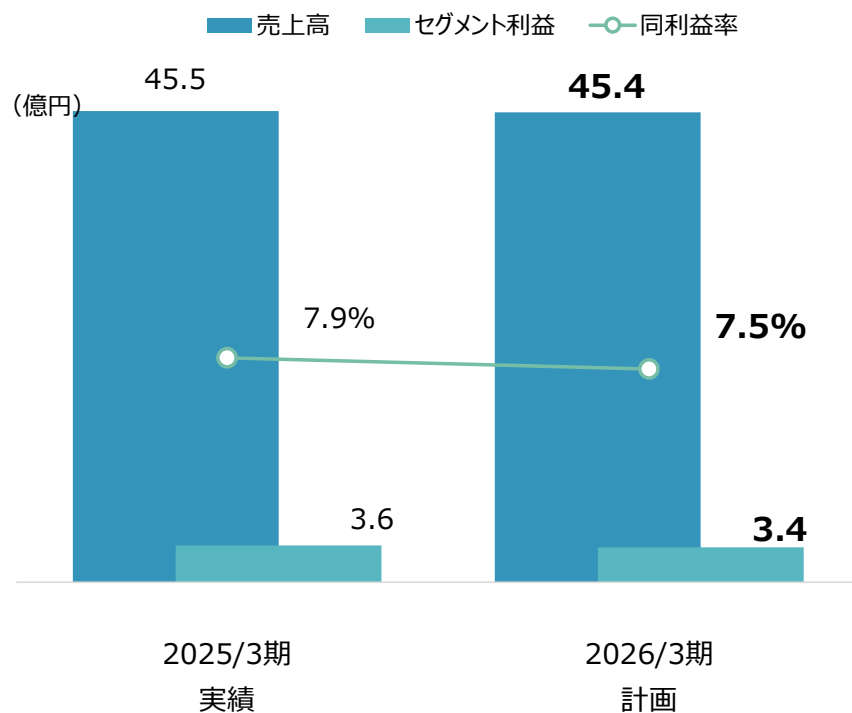
アグリ：クロピク錠剤等販売増

環境リサイクル：脱塩事業の処理量増加等

セグメント別計画：各種塩事業

- 凍結防止剤の販売数量は平年並みを見込み、結果として同数量は減るものの、適正価格維持・一部是正に努め、昨年度と同等の売上、利益を目指す

実績／計画



販売数量比較

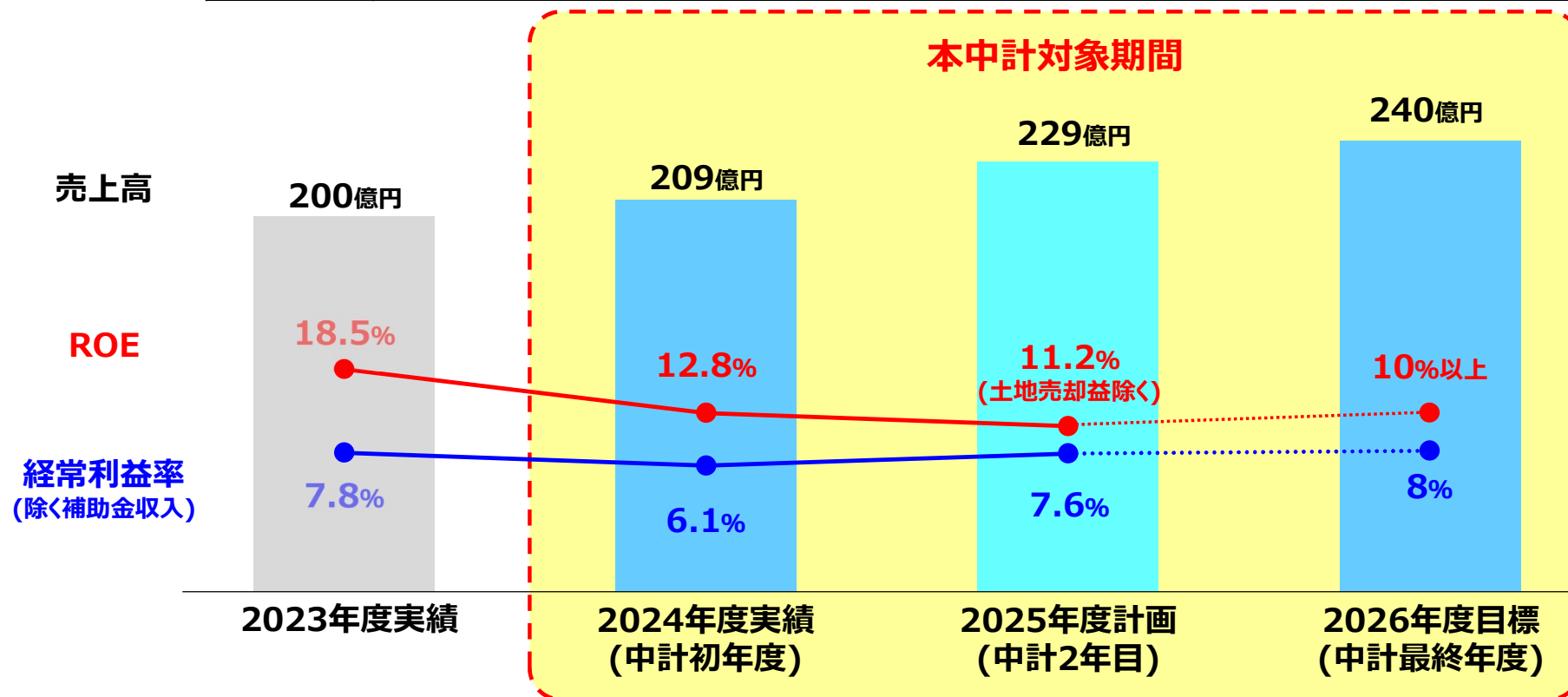
	2025/3期 実績	2026/3期 計画	増減数量	増減率
(単位：千トン)				
販売数量	140.0	132.7	▲7.3	▲5.2%

凍結防止剤の販売数量は平年並みを見込む

中期計画

- 成長に向けた仕込みの年と位置付け、成長投資に向けた重点施策を着実に推進

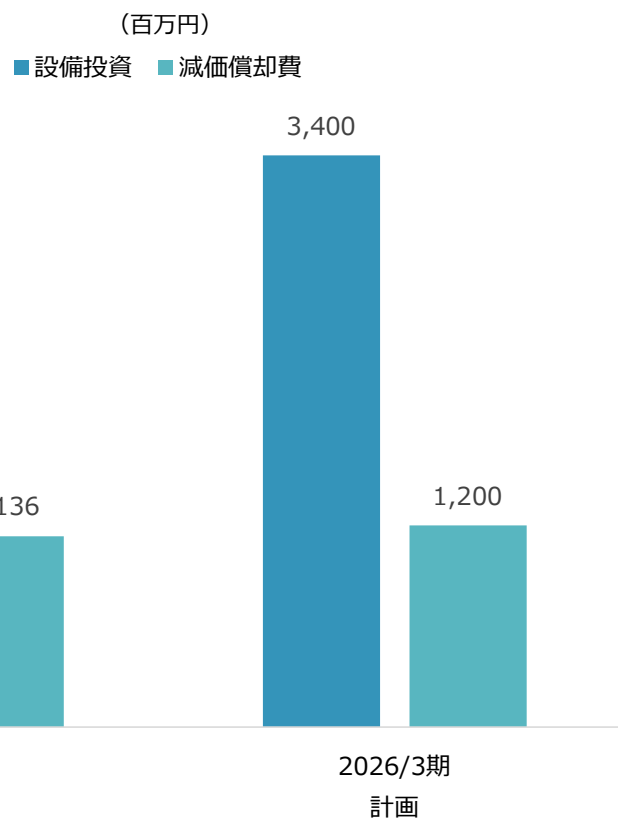
中期計画	スローガン：サステナブルな明日を創る 重点施策：①収益基盤の強化 ②環境リサイクル事業領域拡大 ③サステナブル経営推進 2026年度目標：売上高240億円、経常利益率8%、ROE10%以上
------	---



設備投資

- 引き続き、効率化等による収益力改善並びに持続的な製造体制強化に向けた維持・更新投資と成長投資を並行して推進

設備投資、減価償却費



2025/3期設備投資計画のポイント

効率化投資	維持・更新投資	増産・新規事業投資
2億円	15億円	17億円

- ・製造基盤強化のための合理化、維持・更新投資を推進
- ・脱塩事業の能力増強、その他新規価値創出に向けた成長投資を推進

株主還元

- 当面、株主還元は配当で実施。2024/3期から中間配当も実施し、以降増配を継続
2026/3期は現時点で60円（前期から5円増配）を予定
※2026/3期の土地売却益は、今後の成長投資に備え内部留保に充当
- 今後も安定配当をベースとしつつ、配当額の増加および配当性向の向上を目指す

	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期見通し
一株当たり配当額 （中間／期末）	15円 （－／15円）	50円 （15円／35円）	55円 （20円／35円）	60円 （25円／35円）
一株当たり利益	391.94円	586.71円	505.79円	1,095.78円 （498.08円※）
配当性向	3.8%	8.5%	10.9%	5.5% （12.0%※）

※子会社土地売却益除くベース

＜ 見通しに関する注意事項 ＞

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

お問い合わせ先

経営企画部 財務・IRグループ
TEL : 06-6532-5590 (代表)
Mail : 000164zaimu@nankai-chem.co.jp